

DECISION

Request No.: 03

Protest

Event: The 470 Class Kanto Championships Qualifier 2022 Race Number: 1
Hearing Schedule: 2022-05-21 17:25

PARTIES AND WITNESSES

Request No.: 03: 470 - 1 - JPN 4570 - 学習院大学 - 水野 秀亮 蓑田 知也

470 - 1 - JPN 4282 - 東京工業大学ヨット部 - 堀江 貴翔 石橋 凌我

Witnesses: Finish boat

VALIDITY

Objection to Jury: No

Within Time Limit: Beyond with Good Reason

Incident Identified: Yes

Proper Hail: Protest hailed

Red Flag Displayed: Yes

Decision: Request Valid

PROCEDURAL MATTERS

4570による抗議は、RRS 61.3で求められている抗議締切時刻までに、レース・オフィスに提出されなかった。しかしながら、もっともな理由があったので、RRS61.3に基づき、PCは締切時刻を延長した。

FACTS FOUND

第1レースにおいて風速は2 3 m、波高0.3mであった。

最終レグを、両艇ともポート・タックのリーチングで帆走していた。

風上側のフィニッシュ・マークのゾーンに到達した時、4570は風上側、4282は風下側で4282が半艇身先行した状態で、オーバーラップしていた。

フィニッシュ時、4570とマークの距離は20cmであり、4570のスピンスイトとフィニッシュ・マークが接触をした。

この時、4570のブームエンドと4282との距離は30cmであった。

フィニッシュ・マークとの接触時、スピンスイトがマークと絡まり、4570は失速し、数艇に抜かれた。

両艇に接触はなく、両艇ともに損傷や傷害はなかった。

両艇ともにペナルティーを履行していない。

Diagram: Diagram not endorsed

CONCLUSIONS AND RULES THAT APPLY

Rules: 18.2(b)

外側艇である4282は、内側艇である4570に、マークルームを与えていなかったため規則18.2(b)に違反した。4570は規則31に違反したが、規則43.1(b)により免罪される。

4570は4282の違反により得点が悪くなったが、損傷がなかったため救済の要件を満たしていない。

DECISION

Date & Time: 2022-05-21 18:40 JST

第1レースにおいて、4282をDSQとする。

4570の救済は与えない。

PROTEST COMMITTEE

Chaired By: Noboru Maesono (JPN)

Committee Members: Masahiro Yoshimoto (JPN), Masaru Watanabe (JPN)